

副専攻名 人間機械副専攻					
副専攻のCP(カリキュラム編成方針)					
機械工学分野の基礎科目について学んだ機械工学類の学生で、人間機械コース以外の学生に対し、人間機械の専門知識を身につけるための副専攻である。人間支援や人間との調和に重点を置いた機械工学の科目群から選択し、人間機械に関する知識を習得できるカリキュラムとした。					
副専攻の学習成果					
(1) 人間支援に重点を置いた、医療福祉機器、生活支援機器など人間に密着した機械工学に貢献する能力 (2) 人間との調和に配慮した機械を創造する素養					
副専攻を構成する科目					
科目番号	授業科目名	学生の学習目標	学年	前期	後期
33035	人体科学	分子生物学や細胞生物学における基本的な用語についての説明や、脳・神経、感覚器、循環系、筋骨格系の各器官の構造と機能の説明ができる。	2	○	
33037	人間工学	機器・環境・作業について、人間との関わりにおいて考慮すべき視点とそれらに關係する知識・手法を修得し、日常の身の回りのことに関して上記視点から評価し改善策を提案することができる。	2		○
33045	バイオリボティクス	ロボットや筋骨格系などのリンク機構に関する運動学的關係、静力学的關係、運動法て式を導出できる。	3	○	
33053	生体計測	計測技術の基礎と生体計測で用いる専門用語を習得し、各種の生体計測対象量の生理学的意義と目的および各種生体用センサと計測法の原理を理解することができる。	3		○
33054	生物工学	生物の特徴を工学的視点で理解して、バイオニックデザインやバイオニクス、バイオメカニクスの手法を用いて工学的または医学的諸問題を解決することができる。	3		○
33055	スポーツ科学	スポーツ生理学、バイオメカニクス、およびスポーツ統計学について理解し、身の回りのスポーツを科学的に分析できる。	3		○
33061	感性工学	快適性という言葉に対し、エンジニアとしてあいまいでない概念をしっかりともてること。	4	○	
33062	福祉機器	福祉機器、高齢者支援機器開発の重要性と現状を知り、関連する運動解析やセンサ技術、情報技術について理解を深め、機器開発の問題点を理解することができる。	4	○	
33063	工業デザイン	設計の流れや概念設計段階で行われるプロセスを理解し、またアイデア・ドローイングの基本ルールを活用し、設計へ応用できること。	4	○	

各科目の「学生の学習目標」を達成することにより、「副専攻の学習成果」に達成します。